

【平成16年度専修学校社会人キャリアアップ教育推進事業】

事業名	ウェブコンテンツ制作者のキャリアアップのための教材開発		
学校法人名	学校法人 松本学園		
学校名	九州ビジネス専門学校		
代表者	松本 一恵	担当者・連絡先	須藤輝勝 093-562-8845
<p><事業の概要></p> <p>背景</p> <p>ブロードバンドの急速な普及によって誰もがインターネットから情報を得るようになった。しかし、障害者や高齢者にとっては利用しにくいウェブサイトが多く、デジタルディバイドの問題も浮上してきた。この問題を避けるためにも、一人でも多くの顧客を得て、より広い市場でビジネスをするためにも、ウェブサイトの提供者は誰もが閲覧し易いウェブコンテンツを制作する必要がある。「ウェブコンテンツ」IS」と呼ばれる J I S X 8 3 4 1 - 3 も昨年発効した。</p> <p>一方、今回のアンケート調査の結果でもわかるように、ウェブコンテンツ制作者や提供者側にウェブアクセシビリティ(だれもがウェブサイトにアクセスできるようにすること)に対する意識はまだまだ高いとはいえない。意識はあってもどう対応してよいか分からないでいるというのが現実である。障害者、高齢者への理解も不足している。</p> <p>ウェブサイト制作者のキャリアアップのためにウェブアクセシビリティの知識や技術は大変必要であり、そのための実践的な教材の開発が望まれている。</p> <p>目的</p> <p>ウェブコンテンツ制作者のキャリアアップをはかるための教材を開発し、全国の専門学校等で実施されている社会人教育に役立ててもらおう。</p> <p>教材は、ウェブコンテンツ制作の基礎知識を得るための e-learning 教材(ウェブ上で公開)と、ウェブコンテンツ制作者がウェブアクセシビリティに配慮したコンテンツ制作ができるようスキルアップするための教材(約200ページの冊子)の二つを開発する。</p> <p>事業実施体制</p> <p>事業の推進に当たっては、実施委員会の下に、教材開発部会、調査研究部会、検証実験部会を設置して事業を円滑に進めた。</p> <p>(* 下記名簿参照)</p> <p>事業実施概要</p> <p>今回の事業で実施したことは、主に次の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施委員会、部会の開催 ・テキストの開発・制作(2種類) ・テキスト実証実験講座 ・(株)九州電力のウェブアクセシビリティ検証実験と提言 			

- ・ウェブアクセシビリティ意識調査（ウェブデザイナーなどを対象）
- ・ウェブアクセシビリティに関する実地調査・研究活動
- ・ウェブアクセシビリティセミナーの開催
- ・成果報告会開催（4校6事業合同、福岡市にて）
- ・成果物の配布（郵送など）

実施に当たっては、プロのウェブデザイナー、障害当事者および支援団体、大学研究室などと連携して事業を進めた。

<事業の成果>

今回の事業の成果物として以下のものを作成して公開、頒布した。

公表の方法として、1)及び2)は、冊子を作成し専門学校やウェブコンテンツ制作者へ各300部を配布。

3)については、ウェブ上で公開し、インターネット環境があれば誰もが閲覧・利用できるようにした。

新年度から自校の「ウェブデザイン」の授業で使ってみたいと言うところも出てきた。

1)「実施報告書」(冊子)

内容は、以下の通りである。

- ・事業目的、内容、経緯、成果
- ・ウェブアクセシビリティ意識調査報告
- ・実証実験講座報告
- ・(株)九州電力ウェブサイト評価と提言

2)「ウェブデザイナーのためのウェブアクセシビリティ」(冊子)

今回の事業のメインとなるテキストである。次のような特徴をもつ。

- ・約200ページの冊子テキスト
- ・ウェブデザインの基礎が理解できている者が対象
- ・原稿の原文は全盲の視覚障害者が執筆しているので、障害当事者の立場に立ったウェブアクセシビリティが記述されている
- ・JISなどのガイドラインに照らし合わせるだけでなく、ユーザの視点からのアクセシビリティに言及
- ・アクセシビリティを向上させるために必要な高齢者・障害者理解についての内容を含む

3)「Webデザイナー養成eラーニング」

CDで配布する予定であったが、より広く多くの人に利用してもらうためにウェブ上に公開することにした。

- ・プロのデザイナーを中心に執筆
- ・ウェブコンテンツ制作の基礎を学ぶための教材

・インターネット環境があればどこからでもアクセスして学べるようにウェブ上に公開した。

URL : <http://www.humanite.jp/~monka2004e/>

今回の事業を通して、ウェブアクセシビリティに対する認識がまだまだ高いとはいえないことが分かった。しかし、今回開発したテキストは、障害当事者の立場から記述したウェブアクセシビリティ教材としては、きわめて珍しいものであり、地元のウェブデザイナーや障害当事者団体・支援団体などを中心に注目を浴びている。ウェブ制作の教科を持つ全国の専門学校で広く利用されることを願う。

参考ページ : http://www.humanite.jp/history/Monka_WebContents_Plan.htm

実施委員会、分科会、事務局

実施委員会 委員長 分科会兼任

松本 一恵	学校法人松本学園 理事長
高山 哲信	学校法人高山学園 理事長
立花 剛	学校法人大阪慈慶学園大阪ハイテクノロジー専門学校 学科長
濱田 英雄	株式会社ユーディット 主任研究員
和田 親宗	九州工業大学大学院生命体工学研究科 助教授
土井 雅嗣	北九州市立西部障害者福祉会館 次長
古賀 由美子	社団法人北九州市障害福祉ボランティア協会 常務理事兼事務局長
豊枝 章	障害者小規模共同作業所 IT アトリエ「ひこうせん」所長
吹上 剛一	有限会社 i-d 代表取締役
須藤 輝勝	学校法人松本学園 IT プロフェッショナルカレッジ 学校長
竹内 美佳	学校法人松本学園 バリアフリー推進センター 次長

部会委員 兼任者

中村 忠能	有限会社化成フロンティアサービス
中村 真規	有限会社化成フロンティアサービス
山口 佳子	有限会社化成フロンティアサービス
江藤 晴基	有限会社化成フロンティアサービス
岸川 雅典	九州電力株式会社 広報部 インターネット広報グループ 課長
平尾 真一	学校法人松本学園 IT プロフェッショナルカレッジ
小佐々 康生	サムライデザイン 代表取締役
有村 景子	ないんているずふおっくす有限会社
堤 高太郎	ないんているずふおっくす有限会社
砥綿 時江	フリーランス

事務局

松村 綾子	学校法人松本学園九州ビジネス専門学校 生涯学習部 部長
月原 貴美恵	学校法人松本学園九州ビジネス専門学校 生涯学習部
渡辺 慎二郎	学校法人松本学園 情報バリアフリー推進センター